

「高知県発ベンチャー投資事業有限責任組合」の第1号案件の出資について

国立大学法人高知大学、株式会社高知銀行、株式会社地域経済活性化支援機構(REVIC)及び一般社団法人日本アクアスペースの協力により、2022年1月に設立した「高知県発ベンチャー投資事業有限責任組合」(以下、「本ファンド」という。)は、2023年5月9日付で、株式会社PlastiFarmに対する投資を決定しましたので、お知らせいたします。なお、本件は本ファンドの第1号投資案件となります。

PlastiFarmは新素材である「PGAICs(ポリγグルタミン酸イオンコンプレックス)」の製造に関する独自の技術を保有する高知大学発のバイオベンチャーです。高知大学芦内誠教授(代表取締役)が研究する新素材「PGAICs」を事業化することを目指し、2023年4月に設立した会社です。

PlastiFarmは、「PGAICs」の特徴である分解性・抗菌性・接着性を活かし、様々な機能を付与した新素材の開発を進めており、今後、顧客ニーズに適合した多種多様な用途のPGAICsを多様な市場に社会実装していく予定です。

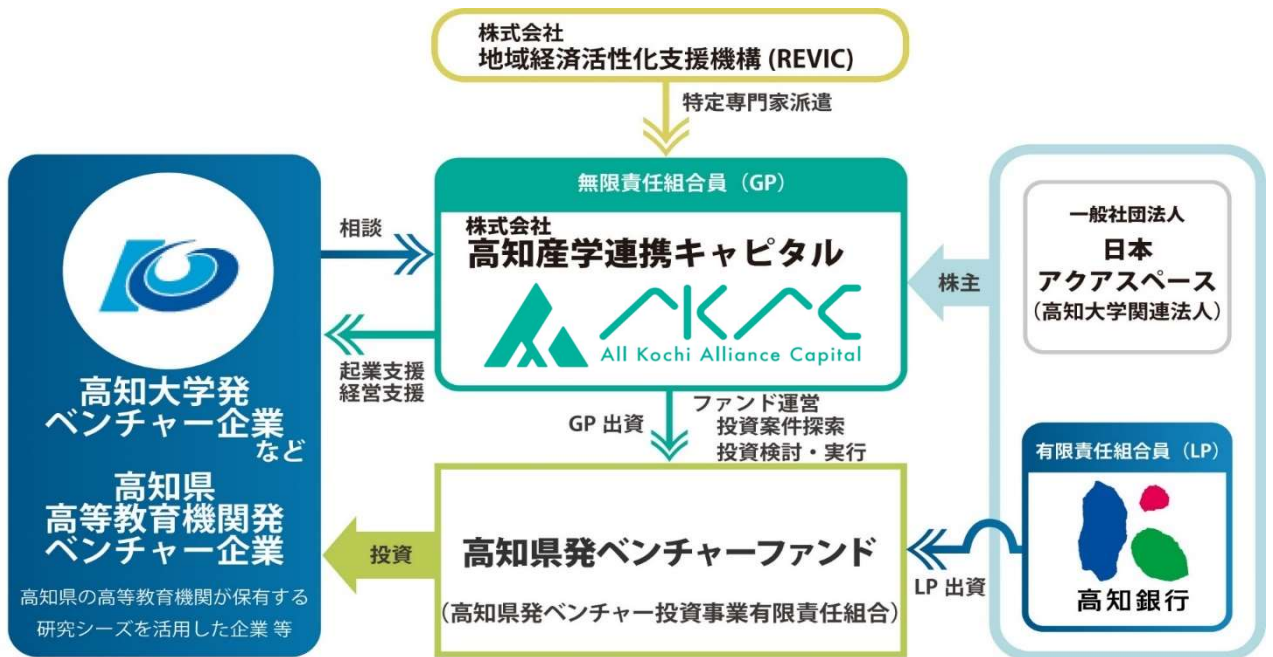
【出資案件の概要】

出資先名	株式会社PlastiFarm
代表者名	芦内 誠
所在地	高知県南国市物部乙200番地 (高知大学物部キャンパス内)
設立年月日	2023年4月3日
事業内容	新素材(PGAICs)の研究・開発・製造・販売・ライセンス
投資決定要旨	・産学連携を通じた産業振興による地域経済の活性化という地域課題を解決するために、地元高知から事業化を目指す研究者や経営者を後押しすることにより、新しい産業を創出することにつながる ・地球温暖化やプラスチックによる海洋汚染といった環境問題の解消にも直結し得る
URL	https://plastifarm.co.jp/

【本ファンドについて】

高知大学発ベンチャー企業の創業支援、地域経済の活性化を目的として、国立大学法人高知大学、株式会社高知銀行、株式会社地域経済活性化支援機構 (REVIC) および一般社団法人日本アクアスペースの協力により設立されたファンドです。今後は支援対象を、高知県の高等教育機関に拡げる予定です。

本ファンドのスキーム図



【高知産学連携キャピタルについて】

株式会社高知銀行及び一般社団法人日本アクアスペースの出資により、高知県発ベンチャー投資事業有限責任組合の運営母体として 2021 年 12 月に設立されました。高知県内の大学発ベンチャーや高等教育機関が保有する人的資源、研究シーズを発掘し、それらへのベンチャー投資と事業化へ向けたハンズオン支援を行うことで、高知から新産業創出の実現を目指しています。

高知県発ベンチャー投資事業有限責任組合
無限責任組合員 株式会社高知産学連携キャピタル
高知県高知市朝倉本町二丁目 17 番 47 号
URL <https://akac.co.jp/>
代表取締役 田中 雅範

<本件に関するお問い合わせ先>
株式会社高知産学連携キャピタル
TEL: 088-855-8062 メール: info@akac.co.jp